

大会あいさつ



皆さん今日は。

今日はお忙しい中、第43回新座母親大会にご参加いただきありがとうございます。

私は新座母親大会の事務局を担当いたしました医療生協の酒井と申します。

分科会でのお話し合いは如何だったでしょうか。

広島・長崎に原爆が落とされてから、今年で72年になります。今年も世界大会に向けて核兵器廃絶の運動があちこちで行われています。

7月に国連で核兵器廃絶の世界大会が行われ、122カ国が賛成しましたが、世界中で唯一の被爆国、日本政府はこの大会に参加しませんでした。多くの国民が驚きました。

東日本大震災が起きてから、そろそろ7年になります。未だに故郷に戻ることができない人、仮設住宅で不便な暮らしを続けている人は10万人とも言われています。普通の人普通の生活ができない。本当に困ったことです。

日本政府は軍事費を増やすために、社会保障費を削りました。年々増える高齢者の医療費、介護費が削られて高齢者は生きにくくなります。これまで日本を築いてきた高齢者がもっと胸を張って生きられる社会にしなければなりません。

42年間一度も休むことなく続いてきた新座母親大会は、子どもの教育環境をよくする運動・高齢者の生きがいを支える運動・憲法を守り、平和を守る運動を続けてきました。これからもずっと続けていくでしょう。

いま、また安倍政権は国民の声を無視して突然の解散、総選挙となりました。私たち新座の母親は無謀な政府のやり方に負けず、子どもの幸せを守り、憲法9条改憲を許さず、戦争反対、脱原発で一致して前に進みましょう。

第43回新座母親大会実行委員会代表 酒井美恵子